

ニ代表者の出席前の公約及帰國後の報告を義務化する事也
 然るに恰もよし、國際労働會議代表選出に対し念を同じくしたる自治会並に
 機軸聯合が主催となりて、國際労働代表選出運動を援助された。吾等
 会は早速して其の企てに賛意を表し、二月十一日の全会議に代表者として、中
 村、辻井、本沢の三名を出席せしむる。

茲して全會議には、海員組合、海軍聯盟、英同盟（台業は大會議中の故を
 以て欠席）を除く他の全國十九の労働團體が参加し、二三團體の専横を避け、
 の及びを促し、来年度よりはその選出方法の公正を期しその利用の効果を大に
 りしむるために、協議會設置を決議し、且つ本年度の代表選出は、若し投票ニ
 三團體が内定せる代表顧問に投票する時は前述する如き不正なる代表選出方
 法承認することになり、若し又この協議會が顧問の代表顧問を選出する時は、
 競争を提起し労働團體間の平和を亂す惧れあるを認め、本年度の代表選出は全
 部一擧に実施し、争闘を免れんとすることを決した。

この争闘書は二月十一日附を以て十九団体連名の下に発表された。（労働新
 報第十一号に全文掲載）

孔アジア労働者大盛日

極東に於ける労働組合の發達並に國際労働會議の發展第一は吾等が創立以來
 の主眼希望であり、凡ゆる機會に力説し未だ所不ある、殊に是れ國際的の廣つ
 て行く資本に對抗するため、地理的に、産業的に、利害相違せざる極東
 労働會議の協同發展を形成すること、目下最大の急務となつてゐる。吾等は
 既に、支那労働會議のストライキを支持し、或は常に朝鮮労働者の資本家との
 闘争を支持して来た。

而して更等極東労働組合が一定の會議を用き、因循を圖小するの必要を痛感
 し、四導し来た。
 時に、昨年鈴木労働代表が國際労働會議より帰朝するや、孔アジア労働組合
 會議開催の計画を発表され、進んで會議成立のために努力する旨の意見を表明
 された。吾等は全氏のこの計画に対し、積極の敬意を表し、大いに期待する所
 あつた。更に英同盟大正十四年度臨時大会に正式に極東労働者大會開催の件を
 決定されるに及び、吾等亦該會議第二回中央委員及擴大中央委員会は英同盟の
 この計画に賛意を表し、該會議より會議に参加を申し込む事を決定した。
 而して直ちに左記の参加申し込み書を英同盟に送つた。